

令和7年度 法奥小学校 6年生「森林・林業・木材体験学習」について

10月23日(木)、24日(金)、30日(木)の3日間、十和田市立法奥小学校の6年生12名を対象に、十和田市内の林業や木材産業に関する企業・団体と当森林管理署とが協力して「森林・林業・木材体験学習」を実施しました。子供たちは伐採現場、木材加工施設、工務店の展示住宅の見学を通して、木が伐採されるところから木材を加工して実際に家として利用されるまでの流れについて学習しました。

1日目は教室で、当署の職員が森林の役割や木材の利用に関して授業を行いました。子供たちはメモをとったり質問するなどして理解を深めていました。

2日目は午前中、有限会社下久保林業の伐採現場に行き、スギの立木をチェーンソーやハーベスター^{*}で伐採し丸太にするまでの工程を見学しました。大きな音と地響きを立てて木が倒れる迫力に驚きながらも、チェーンソーで立木を正確かつ安全に伐り倒す技術や、ハーベスター等の高性能林業機械の作業スピードの速さに目を見張っていました。午後は上北森林組合の木材加工センターに行き、山から運ばれてきた丸太を、その形状や材質などに応じて板や角材などに加工していく過程を見学しました。

3日目は、有限会社岩木建設の作業場と展示住宅を見学しました。展示住宅では、場所に応じて様々な種類の木材が使い分けられている様子を見学した後、かんながけや木のベン立てづくりを体験し、木の手触りや香り、ぬくもりを実感しました。

この3日間で子どもたちは、木材の利用の大切さ、木が伐採され利用される過程、そこで働かれている方々への理解を深めていました。これからも森林や林業に興味を持ち続けて欲しいと考えています。

今回の学習においてご協力いただいた企業・団体の皆様に、心よりお礼申し上げます。

*ハーベスター：木を倒して一定の長さに輪切りする機械。



[森林の役割などについて学習]



[伐採現場の見学]



[製材工場にて木材加工の見学]



[かんながけ体験]

担当：業務グループ　ふれあい担当